

酒々井町郷土研究会々報

第60号

平成3年4月1日発行
酒々井町郷土研究会
編集部

「佐倉藩年寄部屋日記」抄(四)

相京 晴次

「佐倉藩年寄部屋日記」は寛延二年(一七四九)一月から三年八月までの一ヶ年半の、今から二百四十年前の記録ですが、現在とこの時代の変化は随分大きなものでした。

操芝居

操芝居と言っても、現代では何のことかさっぱり判らないというのが常識ですが、江戸時代には可成り人気があった興業でありました。操芝居とは「広辞苑」によりますと、次のように記されております。①操人形を使う芝居(人形劇)②三味線を伴奏に浄瑠璃を語るのに合わせて手遣いの人形をやつる演劇(以下略)とあります。要するに今は絶えてしまった人形芝居のことのようです。ふつと筆者の少年のころ、聞いた覚えのある「阿波の十郎兵衛と巡礼お鶴の愁嘆場」などが人形芝居で

演じられ、当時の大衆の涙を惹きつけたことが思いだされました。

江戸時代には、この操芝居の人氣があり、各地で興業されていたようです。各村々ではこの芝居を催して、その収益で借金返済をしようとして、藩に願い出をしておりました。現在のチャリテイショウに該当利用されておりました。

寛延二年八月二日の日記には次のような記載があります。

一 佐藤彦太夫達、当村之儀前々ヨリ困窮ニ付キ惣百姓連判、借用金御座候処、今度年賦返済仕苦ニ相極申候。然レ共困窮村儀故、金子相働申可ク御座無ク候テ此度惣百姓内談之上御願申候ハ、晴天七日之内操芝居興業仕リ、其助カラ以テ、右借用金、相仕廻申度願上奉候。仰付候ハ、来ル八月中旬頃ヨリ芝居興業仕度存奉候。御慈悲ヲ以テ願、通り仰付ラレ候ハ、御救ヲ以テ

借用金返済相仕現、有難仕合ニ存候已上(読み下し文に訂正以下同様)

五七月廿九日

中川村名主・組頭

(氏名省略)

このように借金返済の手段として操芝居興業の許可を願っております。

このように操芝居は下台村から晴天七日間の興業願いが出されて、います。

牛頭天王祭礼

酒々井の八坂神社は、江戸時代は牛頭天王と呼ばれて、いたが、明治時代初期



の神仏分離令によつて、勝蔵院支配下を脱して八坂神社となりました。

寛延二年七月十二日の日記には、次のように記されております。

一 酒々井町牛頭天王神輿、来ル十六日昼七半時(午后五時)御高礼場所江御出興遊サレ候ニ付、御仮家音堂ニテ葺奉同十八日昼七半時、御帰興遊サレ、成田筋郷部村神主伊勢龍越、十六日十八日上下御供御警護、式人御出シ下サレ候由披露致候と、森村助左衛門申達候

文中の御高礼場所は勝蔵院仁王門前通りにあったので、そこに八坂神社の神輿が仮出興されることになり、この習慣は江戸時代から現在まで続いたことになりました。

大佐倉八幡宮祭礼

寛延二年八月七日の日記に

一 田村恒右衛門達、大佐倉村八幡宮祭礼、例年八月十日より十二日二御座候、右二付、八月十日御輿御出成サレ候ニ付、氏子共打寄、五穀成就之ため別当宝珠院境内ニテ少々、管踊等仕候、清次第御輿酒々井町江御立候儀、先年茂願奉候処、勝手次第ニ仕ル可キ旨仰付ラレ候、村中一同二右ノ段願上奉候、仰付サセラレ下シ置候ハ、有難仕合ニ付奉候、已上。

巳八月

大佐倉村名主・組頭

(氏名省略)

尚十二日の記載には、大佐倉八幡酒々井町出興ニ付、御徒目付、下目付差出候、夜入罷帰ル可候間、明日申述可候、今日酒々井八幡宮祭礼滞無ク相済候由との記載があります。大佐倉の八幡宮御輿が酒々井まで来たという伝承があり、昭和初期までは実施されていた模様です。大佐倉の八幡様の御輿がなぜ酒々井まで出興されたのか、その理由は知ることができません。

平成2年度事業報告書

Table with 3 columns: 事業名 (Project Name), 説明 (Description), 参加者数 (Number of Participants). Rows include 町内史跡めぐりハイキング, 見学会 (果外, 果内, 一泊), 史談会, 野草の会, 名勝探訪, 郷土史講座, 史跡文化財愛護活動, 会報発行, 運営委員会, 総会.

参加者総数 1284名

平成三年一月二十七日(日)午後一時三十分から酒々井町中央公民館講堂に於て第十五回定期総会が開催されました。寒い中にもかかわらず百数名の出席があり、会長挨拶後、議長に玉井旭氏が選出され、平成二年度事業及び決算報告が審議承認され次に平成三年度の事業計画案及び予算案が原案通り承認可決され、役員の変更も承認されました。当日、米需給対策運動の協力事業として、町の農政課の御尽力を頂き、出席者全員においし、おにぎりと味噌汁を食べていただきました。冬とは思えぬ暖かい日中、ほっとした総会でした。

平成三年度総会報告

平成三年一月二十七日(日)午後一時三十分から酒々井町中央公民館講堂に於て第十五回定期総会が開催されました。

郷土研究会平成3年・4年度役員名簿

Table with 4 columns: 役名 (Position), 氏名 (Name), 住所 (Address), 電話番号 (Phone Number). Lists members for various roles like 顧問, 会長, 副会長, etc.

役員改選について

左記の通り総会の席で承認され、平成三年・四年度運営委員として活躍していただくことになりました。尚新運営委員に横山みゆ子、武藤厚子、松井徳三の三氏が選任されました。

平成3年度事業計画

Table with 3 columns: 事業名 (Project Name), 説明 (Description), 参加者数 (Number of Participants). Rows include 町内史跡めぐりハイキング, 見学会, 史談会, 野草の会, 名勝探訪, 郷土史講座, 史跡文化財愛護活動, 会報発行, 運営委員会, 総会.

郷土研日誌 (H2.12.20~H3.3.30)

Table with 3 columns: 月日 (Date), 内容 (Content), 参加人数 (Number of Participants). Lists activities and their dates, such as 郷土研会報校正, 郷土研会報発送, etc.

名刺を借りられた
行基菩薩

玉井 旭

奈良朝頃の寺院や仏閣或は仏像などにかかわる書き物や話になると行基の名前がよく出てくる。

三、四年前千葉県の有名な文学者「水野葉舟」の直孫である水野通雄氏の結婚式に招かれた際、その引出物の包みの中に彼、通雄氏が書いた「安房の国札」という小冊子が入っていた。安房三十四観音を見て廻って感じたことなどを書いたものであるが、当時自分にはあまり興味のないことであつたので書棚の隅に入れてままになつていた。最近、郷土研のいろいろな行事に参加するにつれて、この道の知識を多少でも広げたいと思つて折を見て読み下してみた。

安房の観音札所は普通より一ヶ所多い三十四ヶ所であるが、その中の半分以上の観音像が七百年から七百年にかけて行基が彫刻したものとなつており、特に三番札所の船形山大福寺の十一面観音は、行基が自然石に彫り、その後慈覚大師が来て堂宇を建てたと伝えられている。昔の高僧は仏像の彫刻も名工巨匠の腕前を持つていたのだろうか？

更に行基は聖武天皇の帰依をうけ

東大寺大仏(七五二年開眼)の造営につくしたとも物の本に書かれている。

先般郷土研で埼玉県吉見町の安楽寺を参観したのであるが、この安楽寺も約千三百年前、行基が創建した古刹となつてゐる。もつとも奈良朝時代は、仏教文化が百花繚乱として我が世の春を謳歌した時代でもあつたので、天皇の尊信をいただけるような立場になれば寺の二つや三つ建立することはさして困難なことではなかつたかも知れない。

然し余りにも八面六臂の大活躍であり、鬼や神ではあるまいし、そんな縦横無尽な働きができるはずはないので、何かつくづくことではないかなどの疑いもおこってくる。その疑いのもとになるようなことに次のような書きものがある。京都大学名誉教授であつた井上清氏の著書『日本の歴史』では行基のことに触れ、次のようなことが書かれている。

「貧窮の人民があふれると社会の不安が高まる。その世情を背景にして各地に禁令を犯して民衆の間に仏教を説く僧侶があらわれ、困苦する民衆の信望を得た。中でも和泉の国から出に行基(六六八年〜七四九年)は、仏教の因果応報を説くだけでなく彼に従う民衆と共に道路や用水路を修理し、橋をかけ、病者を治し、救世主のように信仰せられた。七二七年政府は、小僧行基みだりに罪福を説い

て民衆をまどわす」と行基を迫害したが彼は民衆にまわられて布教をつづけた」とあり、更に「七三〇年秋には平城京の若草山で毎日数千人から一万人の民衆が行基を中心として集会するという事態が生じた。この翌年政府は民心をなだめるため、行基の布教を公認した。この頃から行基は次第に政府に懐柔されてゆくが民衆の困苦と社会不安は解消されてはいない」とある。



このようなことが高学の家史家によつて書かれてみると、行基をとりまく社会背景や年代考証を行基の諸国行脚とどう結びつけたらよいのか蜘蛛の巣にからまれてしまったようである。解きほぐすことが大変にいつてくる。

もつともずつと昔のことであれば、歴史家も文化の研究者もあの世に行つて確かめてきたわけでもない。二律背反という程哲学的なものではないので、両者

お互いに自己の主張を正しいと信じていて相手の主張も呑みこむ大きな度量で割り切つてしまえばそれはそれで片付くことではあるが、第三者としては胃の問えがすつきりしない。

又、ついでだから書くが安楽寺の欄間にとりつけられた左甚五郎の作と伝えられる虎の彫刻も本当に甚五郎は一五九四年から一六五一年代の人となつており安楽寺の旧本堂は上杉・北條の戦いで焼失し、現在の御堂が再建されたのは寛文二年即ち一六六一年と伝えられている。そこでこの両年を重ね合わせてみると、左甚五郎はこの安楽寺再建の十年前には既にあの世の人になつてゐる勘定である。

かくて高僧・名工等の名前は、ある事物の文化的価値を加重する為には、しばしば無断借用される宿命を持つてゐるのだろうか。

七草粥について

二月二十五日実施しました「七草粥と食への会」は、ご参加の皆様からご好評をいただきました。朝早くからお手伝い下さいましたお陰で、時間通り会食となり、深く感謝と御礼申し上げます。四月二十五日は「山菜を食べる会」を実施いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

七草や、つどう笑顔に春の風

見学会案内

一泊見学会

4/15(用) 4/16(休) 4/17(休)

公民館の
出発は
午前六時

幸せ参りと花訪ねの旅

例年、秋に実施してきた一泊見学会を今年は四月に行なうことにしました。時は春、善光寺さんは七年に一度の特別御開帳中、一まわ御利益あらたかとか。郷土研会員の幸せを祈願し、高遠のコヒガンザクラ、更埴市森のアンズの里、小諸のサクラと花訪ねの旅を御堪能ください。

杖突峠

諏訪地方から高遠、伊那へと続く杖突街道の峠で、標高一二四七メートル。峠から望む諏訪盆地の風景はあまりに有名で、諏訪湖、蓼科、八ヶ岳など一大パノラマは圧巻。

高遠城跡

天正十六年(一五四七)武田氏が築城。江戸時代になつて保科、鳥居のうちに内藤氏三万三千石の居城となつた。かつての面影は石垣と空濠りに残るのみだが、公園となつて、城跡は一ニ〇〇本にも及ぶコヒガンザクラの名所として名高い。花の高遠にふさわしく、

四月中旬には樹齢一〇〇年を超えるコヒガンザクラが一斉に開花する。

絵島園屋敷

徳川七代将軍家継の正徳四年(一七一四)、世に「絵島生島事件」として有名な大奥疑獄で、この地に流罪となつた大奥取締り役、絵島が二十三年間に渡つて幽閉された園屋敷を復原したものの。

隣接する高遠町郷土館には、藩政時代の資料、当地出身の画家、中村不折の作品などが展示されている。同敷地内の絵島ホテルにて昼食。

森のアンズの里

更埴市森、倉科地区は集中的なアンズの栽培地で、花の季節には一五万本といわれているアンズの花が山合いの集落をピンクの色に染めあげる。見頃は四月中旬の一週間。

戸倉上山田温泉

千曲川の流に臨む温泉。信州の熱海ともいわれ、百軒余りの旅館が並ぶ温泉街。湯量も多く設備もよい。お泊りは信州観光ホテル

(TEL) 〇三六二一七五二二三〇〇

善光寺

一宗一派に偏らず、老若男女だれにでも開放されて広い信仰をあつめてきた。縁起では一三〇〇年昔、欽明天皇の御宇に、一光三尊阿彌陀如来像が日本に伝来された時、他国の仏を拝むことに反対する庶民派によって難波の堀江に捨てられた。そこを通りかかった信濃前司、本田善光という人が、水中で光を放っている仏像を発見、

故郷に持ち帰って祀ったのが善光寺という。善光寺の御利益は、一生に一度おまいりすれば必ず来世の極楽往生がかなえられるといわれ、「牛に引かれて善光寺参り」の話は有名。そして今年には五年と未年のみの特別行事で七年に一度の御開帳。絶対の秘仏の御本尊の身変わりとして前立本尊が公開されている。

小諸懐古園

小諸は江戸時代、仙石氏一万五千石の城下町。懐古園は千曲川のそむ高台にある旧小諸城跡で、立派な三の門、茗むしに石壁が往時をしのばせる。園内には、明治の文豪、島崎藤村の小諸時代の作品、資料を展示する藤村記念館、微古館、小諸義塾跡、叔倉跡、藤村旧居、「古諸なる古城のほとり……」に始まる「千曲川旅情のうた」が刻まれた詩碑などがある。



町内史跡めぐり

(雨天中止) 代替は6/9(日) 公民館 9:00 出発 弁当 本館

勝蔵院

酒々井町の不動さまとして知られて、本尊の不動明王像は、佐倉城主、堀田上野介正信の寄進と伝えられ、元は東台にあったが、

元禄年中、戸田能登守の篤い信仰により、現在地に本堂・仁王門・鐘樓堂が建立された。

酒の井

酒々井の地名のもとになったという碑で、真言宗円福院の境内にある。この碑は中世の供養碑で、表面に梵字キリクが刻まれている。

古松碑

市内方、給食センターの敷地内にあり、「古松」といわれた名木があったところであり、明治三年、巨松の枯れたことを惜んで建てられた。

明治天皇聖跡碑

明治十四年、十五年の両度、明治天皇三里塚行幸に際して、中川の水内常右衛門旧宅に往復四回御小休みされた記念碑である。この地は印旛・手賀沼県立公園に指定されていた展望のよいところ。

妙楽寺

上郷にあり、日蓮宗の寺院で、本堂・客殿・庫裏・七面堂がある。

永徳三年板碑

上郷のとらふ山にあり、中世北朝の年号がある下総式板碑二基があり、町文化財に指定されている。

参加お待ちしております。教育委員会と共催行事です。酒々井の町内も年々少しずつ変化して失われて行くものもあります。歩くことにより酒々井の町を語り、その由来の楽しみ、それはないでしょうか。

郷土研行事業内

平成3年4月~6月

	4 月	5 月	6 月
史談会	13日(土) 午後1時30分 「酒々井町の年中行事」を読む会 中央公民館 (No3)	11日(土) 午後1時30分 「酒々井町の年中行事」を読む会 中央公民館 (No4)	8日(土) 午後1時30分 「酒々井町の年中行事」を読む会 中央公民館 (No5)
名勝探訪 野草の会 (実施につき不安なお 天気の際は会長に おたずね下さい。)	25日(木) 午前11時30分 (中央公民館講堂) 山菜を食べる会 会費 500円 申込受付 4月6日(土) 9:00~11:00 受付場所 公民館ロビー 定員 80名 キャンセル 実施日前日迄(会長迄)	2日(木) 京成酒々井駅 8:26 出発 名勝探訪 王子・早稲田方面 都電に乗って 京成酒々井駅 都電 三輪 王子(王子稲荷 名主の滝公園) 飛鳥山(飛鳥山公園) 鬼 子母神前(栗鬼子母神) 学習院下(目 不動・南蔵院・山吹之里の碑) 遊歩面影橋 早稲田 町屋 京成酒々井 会長迄) (雨天中止)	4日(火) 京成酒々井駅 8:38 出発 名勝探訪 築地本願寺・佃島方面 京成酒々井駅 築地本願寺 一場外 場 蘭学事始の碑 日本近代文化華 始の地 築地外人居留地跡碑 佃島 渡船碑 一個大橋 住吉神社 佃島家並 み 天安(佃島産物) 渡船船何 京成酒々井 (雨天中止)
史跡文化財 愛護活動	4月28日(日) 午前9時 現地集合 ◎ 折角の休日かと恐ろしいですが、よろしくご協力下さい ますようお願い申し上げます。	第1現場 上岩橋貝層・カカンロ横穴群 草刈り 第2現場 伊孫松並木保護松移植(かまくまを持参) (都合の良い現場にお集り下さいますようお願い申し上げます。) (雨天中止) 代替日 5月12日(日)	
一泊 見学会	4月15日(月)~16日(火) ◎ 出発時間・場所 (伊孫 5:45 旧51号農協カクヤストア 5:50) (日暮川 5:55 中央公民館 6:00 出発) ◎ 旅行費・25,000円 ◎ 定員・45名 ◎ 申込受付・4月6日(土) 9:00 定員にはり次第で切 ◎ キャンセル・実施日5日前まで ◎ 会長まで連絡) ※ 交通渋滞状況によっては帰りが遅くなるので御了承下さい。	(高遠・善光寺方面) 幸せ参りと花訪ねの旅 4月15日(月) 中央公民館 諏訪IC 杖突峠 高遠城跡 一 絵島田屋敷 一絵島ホテル(昼食) 更道市街のアンスタの里 一戸倉上山田温泉(泊) 信州観光ホテル(Tel 0262-95-2300) 4月16日(火) 戸倉上山田温泉 善光寺 小諸懐古園(昼食) 一 碓氷峠 花園IC 加須IC 酒々井着(19:30 予定)	
町内 史跡めぐり (教育委員会共催)	6月9日(日) 午前9時 中央公民館集合 用意物 弁当・水筒をご持参下さい。 各所の説明は(No5)に記載 (青葉を楽みながら親子友人語りあい、酒々井の町を知りましょう) (雨天中止) 代替日 6月16日(日)	コース 中央公民館 勝蔵院 酒の井碑 古松碑 新堀 一明治天皇聖跡碑 水神社(双体道祖神) 中川群 館(昼食) 妙楽寺 たら山(水徳碑) 沢酒井駅	

名勝探訪 5/2(水) 6/4(火)

◎ 王子・早稲田方面 5/2(水)
都電に乗って

チンチン電車で親しまれてきた東京の都電で唯一残っているのが都電荒川線です。今回はこの懐かしい都電に乗ります。

荒川川の三ノ輪橋から新宿区の早稲田まで二二キロ、二九の駅を約五十分かけて結んでいます。乗り放題の一日乗車券でさまざまに途中下車して名所旧跡を探ってみましょう。

先ずは王子駅で下車。五〇メートルほどおおいなりさんの関東神社の王子稲荷、そのすぐ先が名主の滝公園。飛鳥山公園ではまだ八重の桜が見られそう。ここで昼食をとって月遅れのお花見。鶯鳴の鬼子母神ではススキミズクにむかひ。目白の不動様には丸橋忠跡のお墓、南蔵院には彰義隊の首塚、片男波、二子山など力士のお墓。二〇〇メートル先は大田道灌の「七重八重...」の舞台である山吹の里です。面影橋で乗車して早稲田から一路酒々井へ帰ります。

◎ 築地本願寺・佃島方面 6/4(火)
西馬込行きで東銀座まで下車し、築地本願寺に行き、昭和九年再建の伽藍と境内の赤穂義士間新六の供養塔、光琳派の画僧酒井抱一、九条武子の歌碑をみて、隣地のなんでも揃う築地市場の場外市場で、これから先も歩きますので子よりのショッピング。五〇メートルも歩きますと、蘭学事始の碑、日本近代文化事始の地、聖路加病院の側を通って築地

外人居留地跡碑から佃島渡船碑に着き、隅田川にかかる佃島橋から川の流れに目を転じながら渡りましょう。少々遅い昼食を佃島の古い家並に江戸の名残を感じながらとりまします。正保三年(一六四六)大原住吉神社の分霊を勧請した住吉神社で陶製の扁額や彫刻のすばらしい水盤などを見て、老舗の天安、丸久、佃源などお店の構えをみながら、渡船何で幸運を祈り、日比谷線築地駅から上野へ、京成上野から始発電車で中々り座って帰りましょう。

会計報告

3/27 七草粥会
収入 500円 x 89人
計 44,500円
支出
食品代 38,704円
容器代 5,356円
雑用品代 1,000円
計 45,060円
差引 -560円
郷土研より560円を補足

あとがき

一年中で一番よい季節になりました。でも、今年の子報では花粉症の心配が報じられており、例年より多いのではないかとされています。郷土研の行事は何かと戸外が多いので心配です。特に四月の十五、十六日の一泊見学会では、長野県方面に旅行し、高遠の城、善光寺の御開帳と言いますばらしい企画です。中でも善光寺の御開帳は、七年に一度しか拝められないものです。この折に、たくさんの方々の御参加が出来ます様、お誘い合わせて下さい。どうぞ、会員の皆様、健康第一にお過ごし下さい。